# 受注企業動向調査結果

-2025.3-

■調査時点　令和7年3月調査（令和7年3月末時点）

■対象企業　150社

■調査時期　4半期毎（3、6、9、12月末時点）

■回答企業　97社（回答率：64.67%）

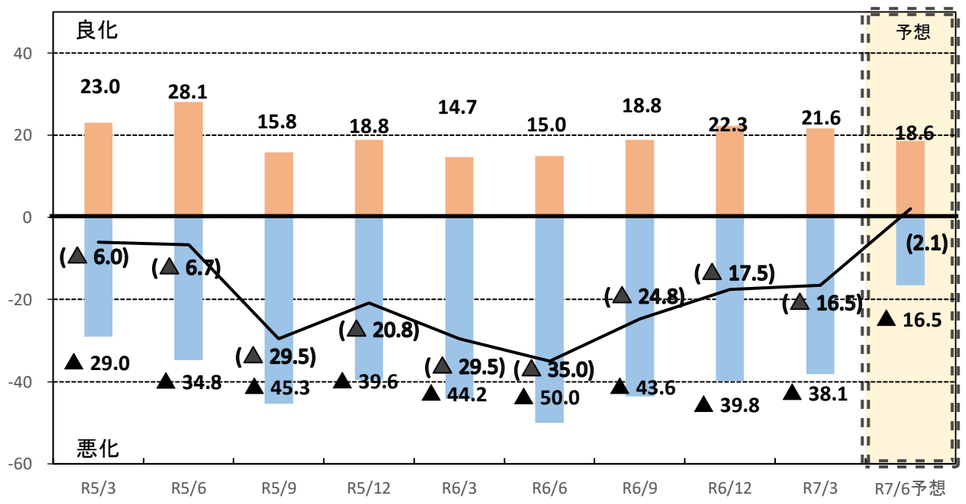
DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

＜業種内訳＞

| | |
|---|---|
| プラスチック | 9 社 |
| 鉄鋼・非鉄 | 7 社 |
| 金属製品 | 18 社 |
| 一般機械器具 | 24 社 |
| 電気機器 | 19 社 |
| 輸送用機器 | 7 社 |
| 精密機器 | 9 社 |
| 縫製 | 4 社 |
| 計 | 97 社 |

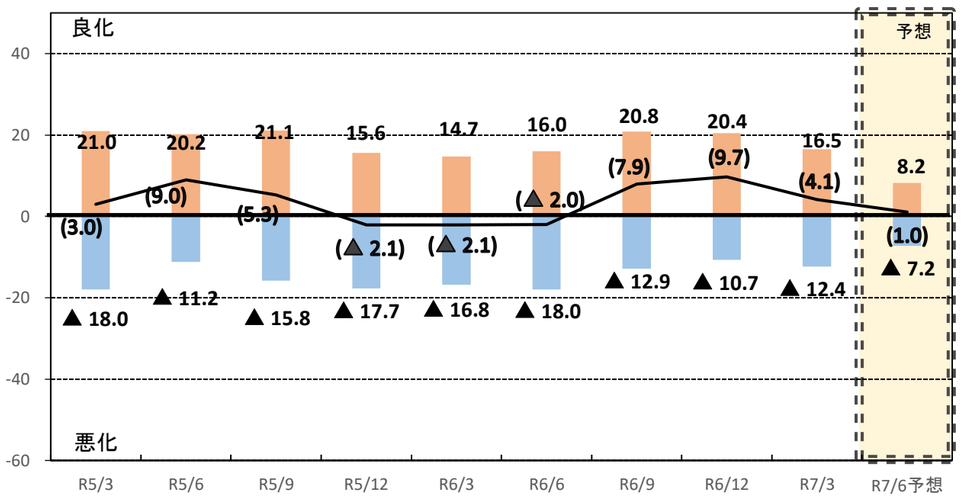
## ●生産高

前年同月比




## ●受注単価

前年同月比

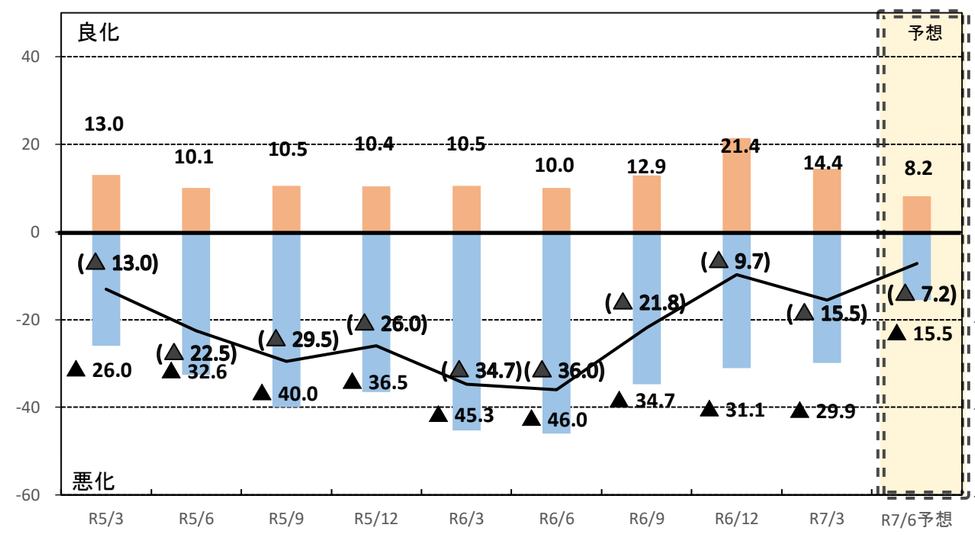



| | | R5/3 | R5/6 | R5/9 | R5/12 | R6/3 | R6/6 | R6/9 | R6/12 | R7/3 | R7/6予想 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 生産高 | 前年同月比 | ▲ 6.0 | ▲ 6.7 | ▲ 29.5 | ▲ 20.8 | ▲ 29.5 | ▲ 35.0 | ▲ 24.8 | ▲ 17.5 | ▲ 16.5 | 2.1 |
| 受注単価 | 前年同月比 | 3.0 | 9.0 | 5.3 | ▲ 2.1 | ▲ 2.1 | ▲ 2.0 | 7.9 | 9.7 | 4.1 | 1.0 |

悪化　回答率
良化　回答率
DI値

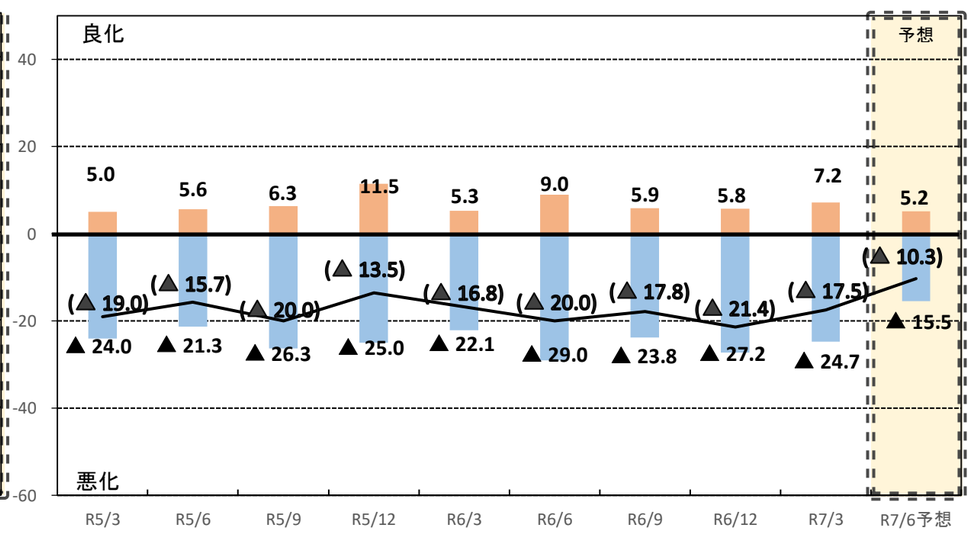
## ●稼働状況

前年同月比




## ●資金繰り

前年同月比




| | | R5/3 | R5/6 | R5/9 | R5/12 | R6/3 | R6/6 | R6/9 | R6/12 | R7/3 | R7/6予想 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 稼働状況 | 前年同月比 | ▲ 13.0 | ▲ 22.5 | ▲ 29.5 | ▲ 26.0 | ▲ 34.7 | ▲ 36.0 | ▲ 21.8 | ▲ 9.7 | ▲ 15.5 | ▲ 7.2 |
| 資金繰り | 前年同月比 | ▲ 19.0 | ▲ 15.7 | ▲ 20.0 | ▲ 13.5 | ▲ 16.8 | ▲ 20.0 | ▲ 17.8 | ▲ 21.4 | ▲ 17.5 | ▲ 10.3 |

悪化　回答率
良化　回答率
DI値

## ●概要（総合）

・生産高（前年同月比）DIは▲16．5で、前回の▲17．5から1．0ポイント増となった。

・受注単価（前年同月比）DIは4．1で、前回の9．7から5．6ポイント減となった。

・稼働状況（前年同月比）DIは▲15．5で、前回の▲9．7から5．8ポイント減となった。

・資金繰り（前年同月比）DIは▲17．5で、前回の▲21．4から3．9ポイント増となった。

・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲2．1、受注単価は1．0、稼働状況が▲7．2、資金繰りは▲10．3という予想になった。

・その他自由意見として、

【一般機械器具】
・一部持ち直しの状況にあるが、先行きに不透明感があり予測が難しい。米国の政策が出てからの対応となる。
・受注は徐々に回復しているがまだ鈍い状態。政府の発表する景況感と肌感覚に大きな乖離を感じる。
　トランプ政権の政策の影響で対ドル円高に振れつつあるので、仕入れ高の低減に期待したい。
【金属製品製造】
・円安になると材料や電気代等の値上げを招き、価格転嫁ができず業況は悪くなる。
【縫製】
・物価上昇で真っ先に節約されるのは洋服衣類関係。例年の70%しか注文がなくワークシェアリングも検討している。
　海外生産98.5%となり国内生産の機会を奪っている。
【電気機器】
・想定以上に市場の動きが悪いく、在庫が掃けない。
・従来のビジネス主体である情報通信関係とは異なる業種への参入アプローチが実り、新たに医療関係のビジネスを獲得。
　実量産は約1年先も将来に向け明るい兆し。
【輸送用機器】
・停滞感が続いている。もう少し先からは受注が増加予定であるが、見通しが立たない。

　という意見が寄せられた。